

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 30日

豊田市長殿



提出者

住所 神奈川県相模原市南区麻溝台一丁目7番1号

氏名 プライムデリカ株式会社

代表取締役社長 齊藤 正義

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 042-702-0011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	プライムデリカ株式会社 豊田第二工場
事業場の所在地	愛知県豊田市猿投町野入44-53
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	売上高9680百万円
③ 従業員数	600名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	○廃プラスチック類 ⇒ 選別 ⇒ リサイクル売却 ○廃プラスチック類 ⇒ RPF化 ⇒ リサイクル売却 ○廃プラスチック類 ⇒ 焼却 ⇒ 埋め立て ○動植物性残さ・汚泥 ⇒ 発酵 ⇒ 肥料化 ⇒ 肥料売却 ○動植物性残さ ⇒ メタン発酵 ⇒ 発電 ○金属くず ⇒ 選別 ⇒ リサイクル売却 ○ガラス、コンクリートくず・陶磁器くず ⇒ 破碎 ⇒ リサイクル売却 ○蛍光灯 ⇒ 破碎 ⇒ リサイクル売却 ○廃電池 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立

## (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) ・管理組織：工場長を責任者とし、その下に製造部・商品開発課・総務課・品質管理課・施設課・仕入課が並列されている。廃棄物の管理は仕入課が担当している。 ・教育研修：社員に対しては直近の廃棄状況を随時連絡し、共通認識としながら減量意識を高めている。パート従業員については、朝礼等で分別廃棄の方法を指導している。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラ
	排 出 量	1468.846 t	552.235 t
	(これまでに実施した取組) 工場敷地内施設にて植物性残渣の破碎・脱水を行い、排出量の低減を行っている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラ
	排 出 量	1454.157 t	546.712 t
	(今後実施する予定の取組) 定常業務の電子化による紙ごみの削減 生産で発生する廃棄物の実績に対して各担当ごとで1アイテム/2週間のスパンで削減取組を行う		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、汚泥を分別・保管		

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙ごみ エンボス素材の手袋
-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	262.884 t	t
	(これまでに実施した取組) 工場敷地内施設にて粉碎・脱水を行い排出量を低減する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	260.255 t	t

		(今後実施する予定の取組) 野菜生産者との計画の中で、使用目的に沿った精度の野菜を仕入れる事で使用歩留りを向上させ廃棄物を削減させる 大型機械導入時でのテストを繰り返し行い不具合による廃棄物を削減する
--	--	--

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度 (            年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度 (    4    年度) 実績】		
	全処理委託量	廃棄物の種類・廃棄物の種類は別紙に記載	廃棄物の種類・廃棄物の種類は別紙に記載
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

		<p>(これまでに実施した取組)          生産計画の精度を向上させ、作りすぎの削減を行う。          新商品スタート時のミスを削減する為にテストでの検証を徹底する。</p>
--	--	---

(第5面)

②計画		【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃棄物の種類・廃棄物の種類は別紙に記載	廃棄物の種類・廃棄物の種類は別紙に記載	
	全処理委託量			
	優良認定処理業者への処理委託量			
	再生利用業者への処理委託量			
	認定熱回収業者への処理委託量			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
		<p>(今後実施する予定の取組)          空き缶：圧縮機を利用した処分方法を検討          廃プラ：紙、ビニール類の分別を進め資源ごみとして利用出来ないか          検証・実行していく。</p>		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第4面・第5面別紙 1)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
	全処理委託量	5.1t	715.5t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.1t	0.124t
	再生利用業者への処理委託量	5.1t	715.3t
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
	全処理委託量	5.049t	708.4t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.049t	0.09t
	再生利用業者への処理委託量	5.049t	708.1t
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	
	全処理委託量	1468.84t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	3.59t	
	再生利用業者への 処理委託量	1205.962	
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	
	全処理委託量	1454.15t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	3.55t	
	再生利用業者への 処理委託量	1193.31t	
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃電池類	水銀使用製品廃棄物
	全処理委託量	0.004t	0.005t
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量		0.005t
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃電池類	水銀使用製品廃棄物
	全処理委託量	0.0039t	0.0049t
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量		0.0049t
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	552.235t	17.515t
	優良認定処理業者への 処理委託量	496.125t	17.515t
	再生利用業者への 処理委託量	527.21t	17.515t
	認定熱回収業者への 処理委託量	351.72t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	76.06t	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	546.712t	17.339t
	優良認定処理業者への 処理委託量	491.163t	17.339t
	再生利用業者への 処理委託量	521.937t	17.339t
	認定熱回収業者への 処理委託量	348.202t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	75.29t	